

トリートメント

1 **EX2** **EX7** **加温**

●**プレシャンプー**
お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに丁寧にシャンプーします。

●**毛髪診断**
ハードドライのあと毛髪診断します。

●**前処理**
毛髪診断に基づいて、ハイダメージ部分に **EX2(原液)** を塗布します。
全頭に **EX2** と **EX7** を塗布します。

●**加温後ハードドライ**
ラップして5分加温しハードドライします。

2

Mplex1
EX2
EX7 + **EXトリートメント**

EXトリートメントに **Mplex1** と **EX2(原液)** と **EX7(原液)** を各2~5%添加します。

●**トリートメント剤塗布**

3 **加温**

EXトリートメント

EXヘアエッセンス
or
EXモイスターミルク

●**加温**
ラップして10分間加温します。

●**水洗**
水洗の後、EXトリートメントを塗布します。
チェンジリンスし軽く水洗します。
ハードドライのあと、EXヘアエッセンスまたはEXモイスターミルクを塗布して仕上げます。



デトックス

薬剤を毛髪や頭皮から完全に除去することで、「半永久的に退色しない」「リッジがダレない」を実現できます！

カラー剤やパーマ剤などの薬剤を水洗しタオルドライします。

EX2 と **EX7** を全頭と頭皮に塗布し揉みこんだあと5分間放置します。
更に **EX3** (4倍希釈液) を全頭と頭皮に塗布し揉みこんだあと5分放置します。
EX2 と **EX7** と **EX3** を洗い流さないでトリートメントを塗布します。
チェンジリンスし軽く水洗します。

※フィニッシングでしっかり水洗しても過酸化水素やアルカリ剤が残留します。
残留した過酸化水素やアルカリ剤が退色やリッジのダレの原因になります。
※詳しくはデトックスマニュアルをご参照ください。

MARVELIC EXCELLENT

施術マニュアル

202501 改訂版

縮毛矯正施術例

before

after

QRコードで動画をご覧頂けます

ヘアカラー パーマ デジタルパーマ 縮毛矯正 マニキュア ブリーチ トリートメント デトックス

高機能の4つの処理剤 **EX1** **EX2** **EX3** **EX7**

基本的には処理剤1に対して水3の割合で希釈して使用します。(1:3は4倍希釈)
※ダメージレベルや髪質によって原液を使用したり希釈率を変えることで効果がアップします。

EX1 弱アルカリ性のケラチン・ペリセアが主成分の処理剤です。ブリーチ剤やパーマ剤の働きをサポートします。

EX2 弱酸性のケラチン・セラミド・ペリセアが主成分の処理剤です。薬剤の働きを妨げず抜群のダメージ補修を発揮します。

EX3 酸性のレプリン酸・PCAが主成分の処理剤です。アルカリを強力に除去しキューティクルを整え頭皮を健やかにします。

EX7 中性のヘマチン・メドウフォームδラクトンが主成分の処理剤です。過酸化水素を除去し髪のダメージを補修します。

化粧品分類のカーリング料 **1N** **1H** **1V** **2B** デザイントリートメント

還元剤はチオグリコール酸システアミン+システアミン
優れたデザイン性と優れたダメージ補修を高次元で両立させました。
最新のダメージ補修成分であるキューアテインαとファイバーハンスを高配合しました。

1N ローションタイプ(ノーマル)です。カール・ストレート・デジタルパーマ兼用です。

1H クリームタイプ(ハード)です。ストレート・デジタルパーマ兼用です。

1V クリームタイプ(ベリーハード)です。ストレート・デジタルパーマ兼用です。

2B ローションタイプ(プロム酸)です。カール・ストレート・デジタルパーマ兼用です。

マーベリックのホームページで動画マニュアルをご覧いただけます。 ホームページQRコード



うねりがとれるヘアカラー うねりをとる工程

1



EX2

- 毛髪診断
- プレシャンプー
お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに丁寧にシャンプーします。
- 前処理
ハイダメージ部分は **EX2(原液)** を塗布します。
ミドルダメージやローダメージ部分は **EX2** を塗布します。
フェイスラインなどデリケートな新生毛は **EX2(原液)** を塗布します。
EX2 を頭皮に塗布すると1剤の刺激を緩和します。
前処理剤を塗布後ハーフドライします。

2



1V 1H 1N

- 1剤 **1V 1H 1N** 塗布
毛髪診断に基づいて1剤を塗布します。
根元・中間・毛先と時間差を設けて塗布シラップします。
根元ギリギリに1剤を塗布しても根元が折れることはありません。
毛先がハイダメージの場合は **1N + EX3** を塗布します。※2参照
- 放置または加温
毛髪診断に基づいて時間を設定し放置または加温します。

3



加温または放置

- 加温または放置
毛髪診断に基づいて時間を設定し加温または放置します。
1V 新生毛10~30分 加温又は自然放置 ※1参照
1H ローダメージ 5~10分 加温又は自然放置
1N ミドルダメージ 5~10分 自然放置
1N + EX3 ハイダメージ 1~5分 自然放置 ※2参照
- 軟化チェック
軟化が不十分だとクセが取れなかったりアホ毛が出来たりします。
- 中間水洗

4



髪質改善

EX7 EX2

重要

- 中間処理 髪質改善
タオルドライの後、**EX7** と **EX2** を全頭に塗布します。
ハイダメージ部分は **EX7** と **EX2(原液)** を塗布します。

5



- ヘアアイロン
完全ドライの後、ヘアアイロンで整えます。
ヘアアイロンの温度は150℃以下を推奨します。
※ヘアアイロン用のオイルやローションはヘアカラーの酸化重合を妨げるので絶対に使用しないでください。
ヘアアイロンの工程が終わったら、続いてヘアカラーの工程に入ります。
カラー剤の2剤がストレートパーマの2剤を兼ねます。
※アイロンの工程 **5** が不要な場合は **4** 中間処理の後、カラーの工程に入ります

※続けて施術するヘアカラーの工程でプレシャンプーと毛髪診断は不要です。
※ **5** ヘアアイロンの工程を行わない場合は **4** 中間処理の **EX7** と **EX2** を塗布後カラー剤が塗りやすい程度ドライしてください。

※1
新生毛でも髪質によっては **1H** で還元軟化が可能な場合があります。

※2
ハイダメージの場合は **1N** に **EX3** を10%添加します。
ビビリ毛の場合は **1N** に **EX3** を20%添加します。

デジタルパーマ

1



EX2

- 毛髪診断
- プレシャンプー
お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに丁寧にシャンプーします。
- 前処理
ハイダメージ部分は **EX2(原液)** を塗布します。
ミドルダメージやローダメージ部分は **EX2** を塗布します。
EX2 を頭皮に塗布すると1剤の刺激を緩和します。
前処理剤を塗布後ハーフドライします。

2



放置または加温

1H 1N

- 1剤 **1H 1N** 塗布
毛髪診断に基づいて **1H 1N** を塗布します。
根元・中間・毛先と時間差を設けて塗布シラップします。
- 放置または加温
1H 新生毛・ローダメージ 5~20分 加温又は自然放置
1N ミドルダメージ 5~10分 自然放置
1N + EX3 ハイダメージ 1~5分 自然放置 ※1参照
- 軟化チェック
- 中間水洗

3



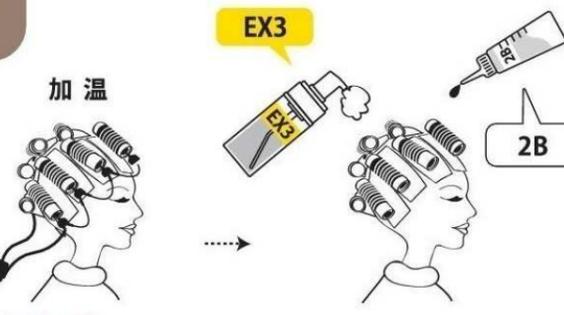
髪質改善

EX7 EX2

重要

- 中間処理 髪質改善
タオルドライの後、**EX2** と **EX7** を全頭に塗布します。
ハイダメージ部分は **EX7** と **EX2(原液)** を塗布します。
ダメージ補修効果がアップします。
※希釈率を変えると硬い髪にしなやかさを柔らかい髪にハリコシを与えます。
硬毛の場合は **EX2** を6~8倍希釈で使用します。
軟毛の場合は **EX2** を原液~2倍希釈で使用します。

4

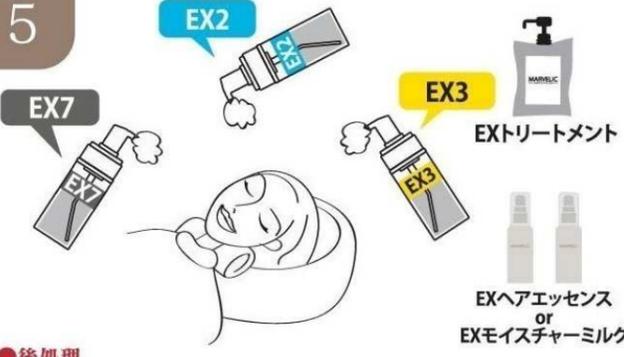


加温

EX3 2B

- ワインディング
- 通電 加温 通電終了
- 酸リンス **EX3** 2剤 **2B** を塗布
EX3 を塗布後余分な水分をタオルでしっかり取り **2B** を塗布
7分+7分放置
2B に **MPLEX1** を5%添加するとダメージ補修効果がアップします。
※2剤が過酸化水素の場合は **EX3** を塗布しないでください。
- ロッドアウト

5



EX7 EX2 EX3

EXトリートメント

EXヘアエッセンス
or
EXモイスターミルク

- 後処理
タオルで余分な水分を取り **EX7** を塗布し更に **EX2** を塗布します。
EX7 と **EX2** をもみこんだ後、**EX3** を塗布します。
EX7 と **EX2** と **EX3** を洗い流さずにEXトリートメントを塗布します。
チェンジリンスし軽く水洗します。ハーフドライのあと、
EXヘアエッセンスまたはEXモイスターミルクを塗布して仕上げます。

※1
ハイダメージの場合は **1N** に **EX3** を10%添加します。

縮毛矯正

ヘアカラー

1



- プレシャンプー**
お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに丁寧にシャンプーします。
- 前処理**
ハイダメージ部分は EX2(原液) を塗布します。
ミドルダメージやローダメージ部分は EX2 を塗布します。
フェイスラインなどデリケートな新生毛は EX2(原液) を塗布します。
EX2 を頭皮に塗布すると1剤の刺激を緩和します。
前処理剤を塗布後ハーフドライします。

2



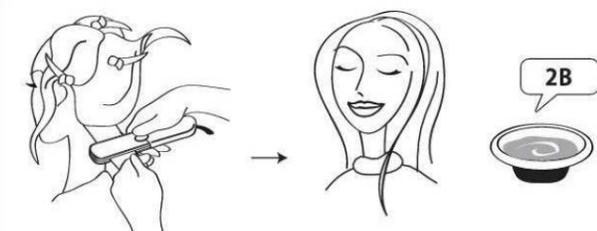
- 1剤 1V 1H 1N 塗布
毛髪診断に基づいて1剤を塗布します。
根元・中間・毛先と時間差を設けて塗布シラップします。
根元ギリギリに1剤を塗布しても根元が折れることはありません。
毛先がハイダメージの場合は 1N + EX3 を塗布します。 ※2参照
- 放置または加温**
毛髪診断に基づいて時間を設定し放置または加温します。

3



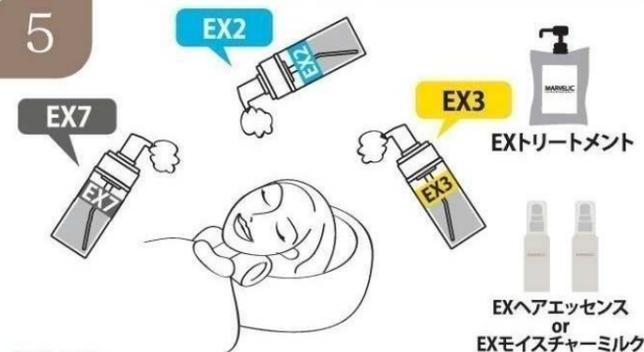
- 軟化チェック**
軟化が不十分だとクセが取れなかったりアホ毛が出来たりします。
- 中間水洗**
- 中間処理 髪質改善**
タオルドライの後、EX7 と EX2 を全頭に塗布します。
ハイダメージ部分は EX2(原液) を塗布します。
EX7 と EX2 をもみこんだ後、EX3 を塗布します。
※2剤が過酸化水素の場合は EX3 を塗布しないでください。

4



- 完全ドライの後、ヘアアイロンで整えます。
ヘアアイロンの温度は150℃以下を推奨します。
※ヘアアイロン用のオイルやローションは2剤(酸化剤)の働きを妨げるので絶対に使用しないでください。
- 2剤 2B 塗布
2B を塗布。7分+7分放置

5



- 後処理**
タオルで余分な水分を取り EX7 を塗布し更に EX2 を塗布します。
EX7 と EX2 をもみこんだ後、EX3 を塗布します。
EX7 と EX2 と EX3 を洗い流さずにEXトリートメントを塗布します
チェンジリンスし軽く水洗します。ハーフドライのあと、
EXヘアエッセンスまたはEXモイスターミルクを塗布して仕上げます。

- ※1
新生毛でも髪質によっては 1H で還元軟化が可能な場合があります。
- ※2
ハイダメージの場合は 1N に EX3 を10%添加します。
ビビリ毛の場合は 1N に EX3 を20%添加します。

動画マニュアルをご参照ください。



1



- 毛髪診断**
- プレシャンプー**
お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに丁寧にシャンプーします。
- EX2 をフェイスラインと頭皮に塗布**
カラー剤の刺激を緩和します。プロテクトクリーム不要です。
乳化の時にフェイスラインと頭皮に残ったカラー剤が簡単に取れます。

2



- EX2 添加**
カラー剤(1剤+2剤)に対して EX2 を10%添加します。
- カラー剤塗布・放置**
毛髪診断に基づいてカラー剤を塗布して放置します。
- カラーチェック**
染まりが甘い部分があった場合は EX2 を塗布し揉みこむと
発色が促進されます。

3



- 乳化 髪質改善**
※シャンプーボウルにお湯を溜めないでください。
お湯ではなく EX7 ・ EX2 ・ EX3 で乳化します。
EX7 ・ EX2 ・ EX3 の順で全頭と頭皮に塗布し揉みこみます。
頭皮に揉みこむと頭皮に付いたカラー剤が簡単に取れます。
毛先がハイダメージの場合トーンダウンしやすいので EX2 を塗布後すぐに EX3 を塗布します。
※希釈率を変えると硬い髪にしなやかさを柔らかい髪にハリコシを与えます。
硬毛の場合は EX2 を6~8倍希釈で使用します。
軟毛の場合は EX2 を原液~2倍希釈で使用します。
- シャンプー**

4



- 後処理**
タオルで余分な水分を取り EX7 を塗布し更に EX2 を塗布します。
EX7 と EX2 をもみこんだ後、EX3 を塗布します。
EX7 と EX2 と EX3 を洗い流さずにEXトリートメントを塗布します
チェンジリンスし軽く水洗します。ハーフドライのあと、
EXヘアエッセンスまたはEXモイスターミルクを塗布して仕上げます。

ブリーチ

1

- 毛髪診断
- プレシャンプー
お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに丁寧にシャンプーします。
- 前処理
ハイダメージ部分は EX2 を塗布します。
脱色しにくい髪には EX1(原液) を塗布します。
普通の髪には EX1 を塗布します。
前処理剤を塗布後ハーフドライします。

2

放置

- EX2 をフェイスラインと頭皮に塗布
ブリーチ剤の刺激を緩和します。プロテクトクリーム不要です。
- EX1 添加
EX1 をブリーチ剤(1剤+2剤)に対して10%添加します。
- ブリーチ剤塗布
- 放置
- チェック

3

髪質改善 重要

- EX7
- EX2
- EX3

※シャンプーボウルにお湯を溜めないでください。
お湯ではなく EX7・EX2(原液)・EX3 で中間処理します。
EX7・EX2(原液)・EX3 の順で全頭と頭皮に塗布し揉みこみます。

- シャンプー

4

- 後処理
タオルで余分な水分を取り EX7 を塗布し更に EX2 を塗布します。
EX7 と EX2 をもみこんだ後、EX3 を塗布します。
EX7 と EX2 と EX3 を洗い流さないでEXトリートメントを塗布します
チェンジリンスし軽く水洗します。ハーフドライのあと、
EXヘアエッセンスまたはEXモイスターミルクを塗布して仕上げます。

パーマ

1

- 毛髪診断
- プレシャンプー
お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに丁寧にシャンプーします。
- 前処理
ハイダメージ部分は EX2(原液) を塗布します。
ミドルダメージやローダメージ部分は EX2 を塗布します。
フェイスラインなどデリケートな新生毛は EX2(原液) を塗布します。
EX2(原液) を頭皮に塗布すると1剤の刺激を緩和します。
前処理剤を塗布後ハーフドライします。

2

- 1剤 1N 塗布
水巻またはつけ巻きで 1N を塗布します。
- ワインディング
ワインディングの後、根元に EX1 を塗布すると根元が立ち上がりやすくなります。
- 加温または放置
毛髪診断に基づいて加温または放置します。
放置時間は8~10分間が目安です。 ※オーバertime厳禁
- テストカール
- 中間水洗
中間・毛先だけワインディングした場合は、ロッドが外れないように
アプリケーターにお湯を入れて 1N を洗い流してください。

3

髪質改善 重要

- EX7
- EX2

- 中間処理 髪質改善
タオルで余分な水分を取り EX2 と EX7 を塗布します。
EX2 と EX7 を塗布後5~10分クープするとしなやかでハリのある
パーマが再現できます。
※希釈率を変えると硬い髪にしなやかさを柔らかい髪にハリコシを与えます。
硬毛の場合は EX2 を6~8倍希釈で使用します。
軟毛の場合は EX2 を原液~2倍希釈で使用します。

4

- EX3 と 2B 塗布
EX3 を塗布後余分な水分をタオルでしっかり取り 2B を塗布
7分+7分放置
2B に MPLEX1 を5%添加するとダメージ補修効果がアップします。
※2剤が過酸化水素の場合は EX3 を塗布しないでください。
- ロッドアウト
- 水洗

マニキュア

1

- プレシャンプー
お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに丁寧にシャンプーします。
- 毛髪診断・前処理
ハーフドライのあと EX1 を塗布します。
マニキュア剤が塗布しやすい程度にドライします。

2

マニキュア剤 加温または放置

- マニキュア剤塗布
- 加温または放置
- チェック

3

- シャンプー
水洗の後、EXトリートメントを塗布します。
チェンジリンスし軽く水洗します。
ハーフドライのあと、EXヘアエッセンス
またはEXモイスターミルクを塗布して
仕上げます。

5

- 後処理
タオルで余分な水分を取り EX7 を塗布し更に EX2 を塗布します。
EX7 と EX2 をもみこんだ後、EX3 を塗布します。
EX7 と EX2 と EX3 を洗い流さないでEXトリートメントを塗布します
チェンジリンスし軽く水洗します。ハーフドライのあと、
EXヘアエッセンスまたはEXモイスターミルクを塗布して仕上げます。